

東芝換気扇（ダクト用）取付説明書

中間取付形（プラスチックボディ）


形名 **I DVC-12M4、DVC-13M4、DVC-15M4** (3部屋用)

- この換気扇（ダクト用）の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくために、この取付説明書をよくお読みください。
- 取付工事は、必ず専門の工事店にご依頼ください。
- この製品には専用スイッチ他、別売のシステム部材が必要です。
- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。この取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管していただくように依頼してください。

安全上のご注意








- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。








図記号の例

表 示	表 示 の 意 味	図 記 号	図 記 号 の 意 味
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。	 禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で指示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。	 強制	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で指示します。
		 注意	△は、注意を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で指示します。

- *1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
- *2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。
- *3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

警告

 改造禁止	改造はしない 火災・感電・けがの恐れがあります。
 分解・修理禁止	修理技術者以外の人、分解・修理（※）をしない 火災・感電・けがの恐れがあります。 ※修理はお買上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。
 アースを接続する	アースは確実に取り付ける 故障や漏電したとき、火災・感電の恐れがあります。 ※アースの取り付けは販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
 接触禁止	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付ける 漏電した場合、火災の原因になります。
 給気を確実に	煙突排気の燃焼器具がある住宅に取り付けるときは、十分大きな空気取入口を別に付ける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。
 交流100V使用	電源は交流100Vを使う 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の恐れがあります。
 使用禁止	内釜式風呂が設置された住宅には取り付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。

⚠ 注意	
 取付禁止	浴室には壁スイッチを取り付けない 火災・感電の恐れがあります。
 取付禁止	直接炎の当たる恐れのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取り付けない 火災の恐れがあります。
 確実に取り付ける	強度のある場所に確実に取り付ける 落下により、けがをする恐れがあります。
 確実に取り付ける	給排気グリルなどは確実に取り付ける 落下により、けがをする恐れがあります。
 電気工事士が実施	電気工事・アース工事は電気工事士（※）が行う 電気工事士以外の人が工事をする、火災・感電・けがの恐れがあります。 ※電気工事士への依頼はお買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
 手袋を使う	取り付けの際は必ず手袋を着用する 感電・けがの恐れがあります。
 ブレーカーを切る	長期間で使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による火災・感電の恐れがあります。

取り付け前のお願い

お願い

本体の真下に保守点検口(□450)を必ず設けてください。
(点検口がない場合の本体修理等で、天井などを壊す場合は、お客さまの費用で負担となります。あらかじめご了承ください。)

24 時間換気機能を得るためには下記点に留意ください。

- ドアのアンダーカット等により空気の流通経路を確保してください。
- 排気口が外風の影響を受ける場所（高層住宅等）には取り付けないでください。風量が低下し、換気量が不足するおそれがあります。

取付場所

- 浴室など湿気の多い場所に給排気グリルを取り付ける場合は、グリルから水滴が落ちて不快感にならない場所に取り付けてください。

天井・ダクト工事

- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて 1 / 100 以上の下りこう配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ、または雨水などの浸入を防ぐための深形フード、などのシステム部材を取り付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。(風量低下や異常音発生の原因になります)

● 極端な曲げ

● 多数の曲げ

● 吐出口のすぐそばでの曲げ

● しぼり



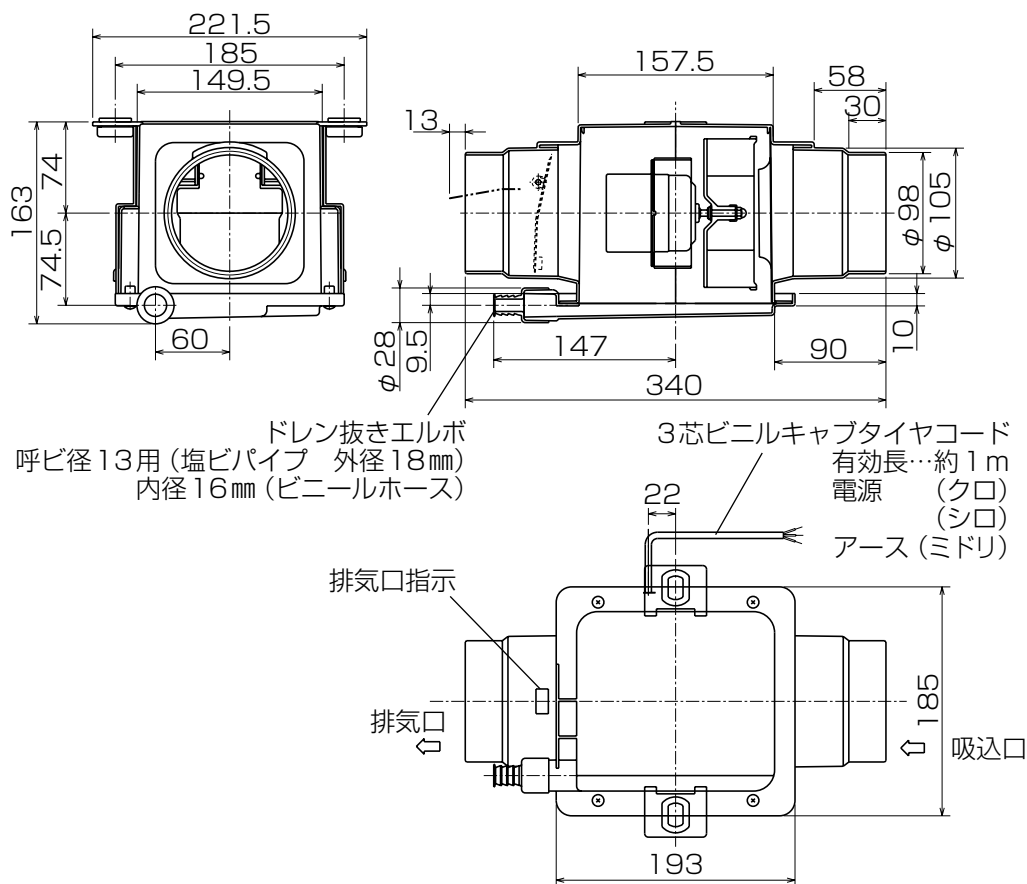
取り付け

- プラスチックボディタイプの中間取付形ダクトファン及びダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには取り付けないでください。
- 温泉には取り付けないでください。腐食（落下）、漏電（感電）、早期故障の原因となります。
- 業務用 24 時間風呂のような常時湿気のある場所では寿命が短くなる場合があります。
- 浴室などの湿気の多いところに取り付ける場合は漏電ブレーカーを取り付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

外形寸法図

単位 (mm)

形 名 DVC-12M4



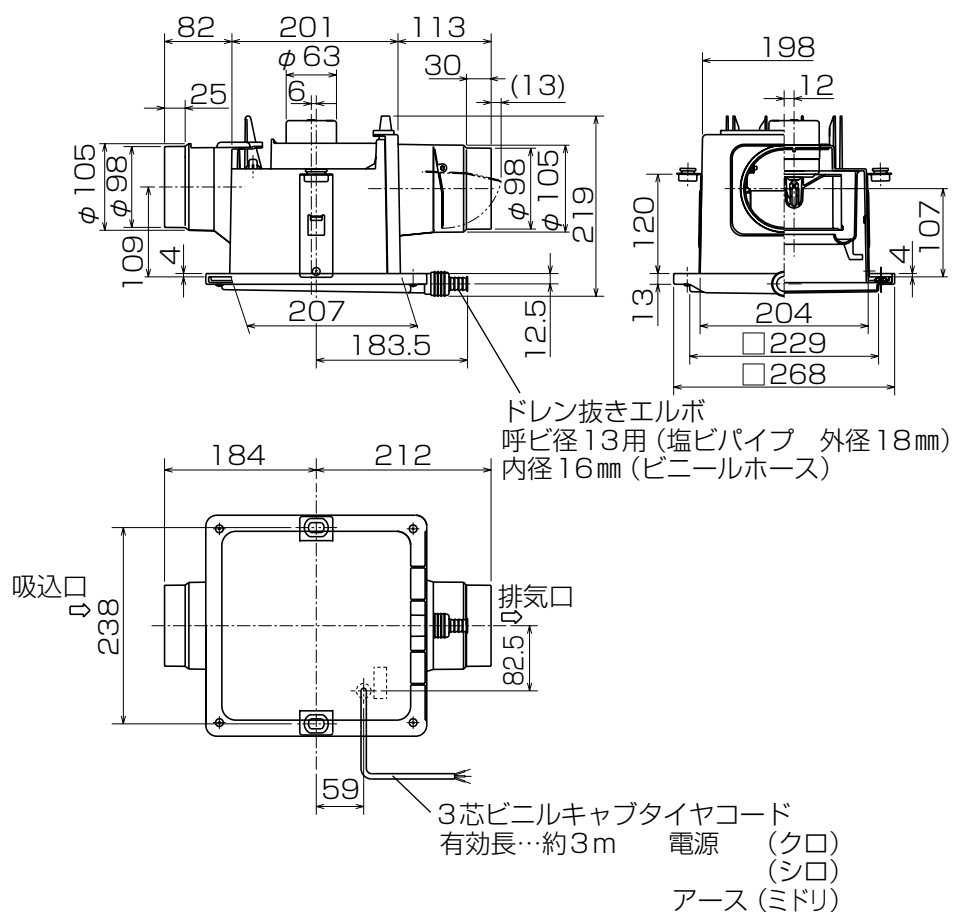
ダクト径

φ 100 mm

付属部品

テープ……2枚

形 名 DVC-13M4



ダクト径

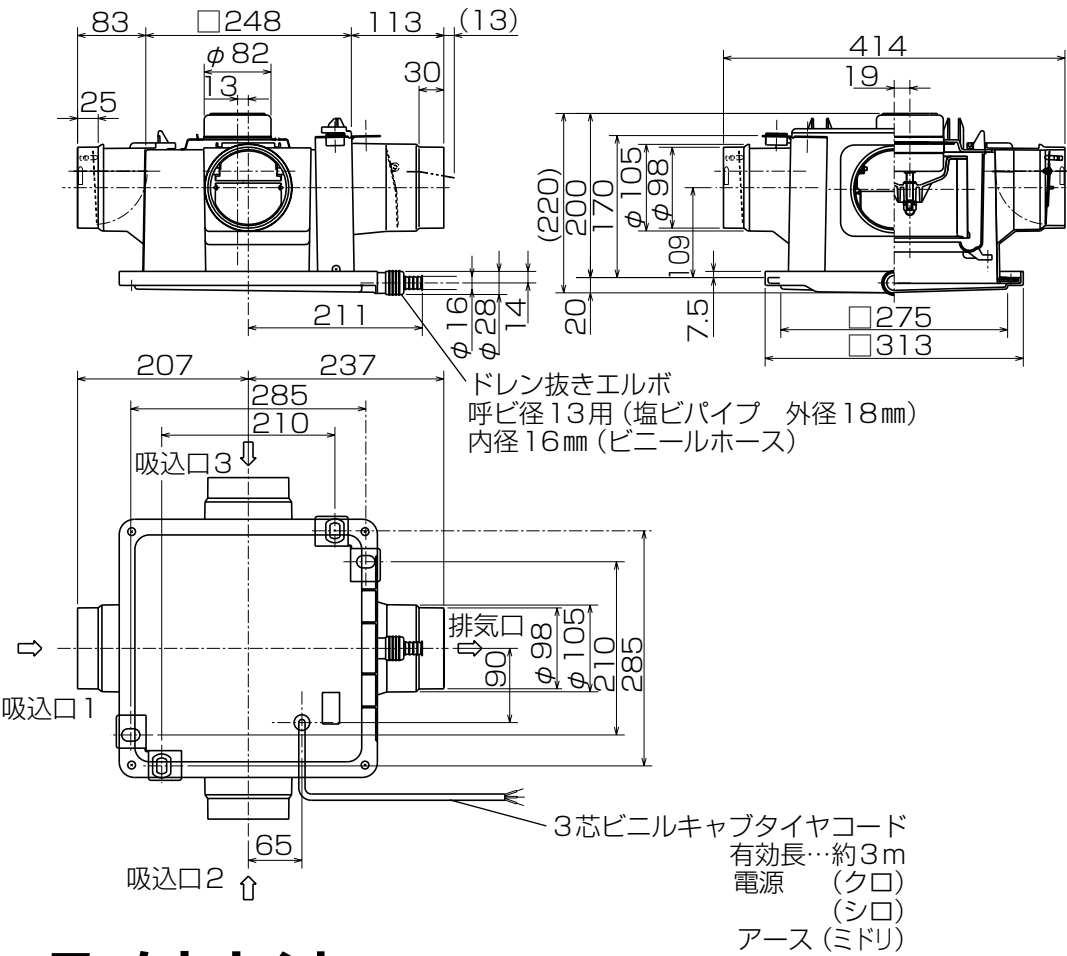
φ 100 mm

付属部品

テープ……2枚

外形寸法図 つづき

形 名 DVC-15M4

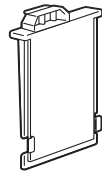


ダクト径

φ 100 mm

付属部品

カバープレート…2 個



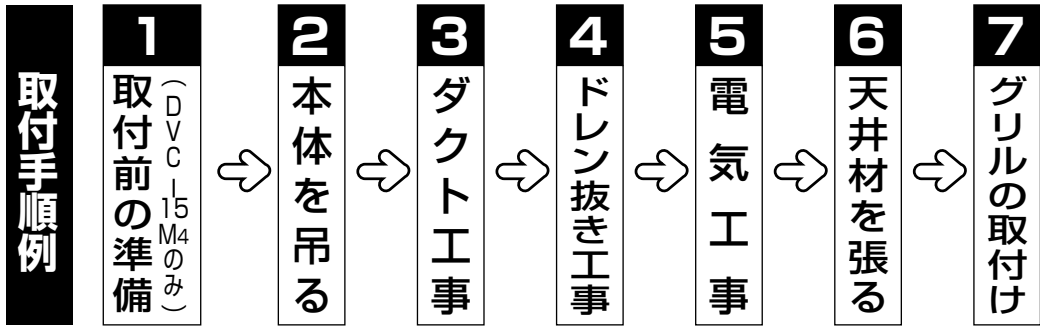
テープ……………2 枚



DVC-12M4, DVC-13M4
にはテープは使用しません。

取付方法

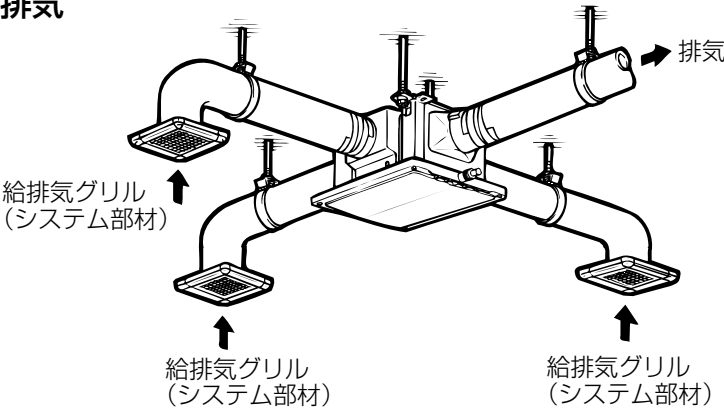
※図はDVC-15M4を示す。



1 取付前の準備 (DVC-15M4のみ)

本体の取付位置・吸込方向・排気方向を決めます。

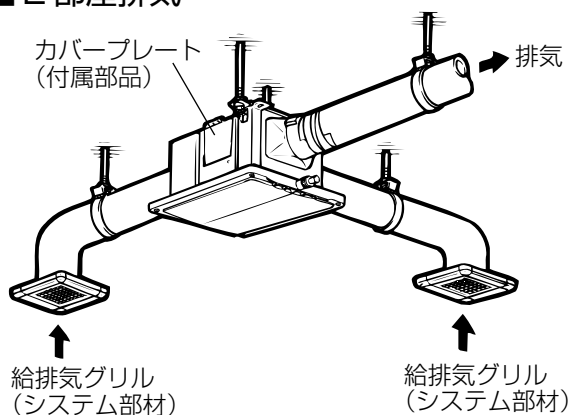
■ 3 部屋排気



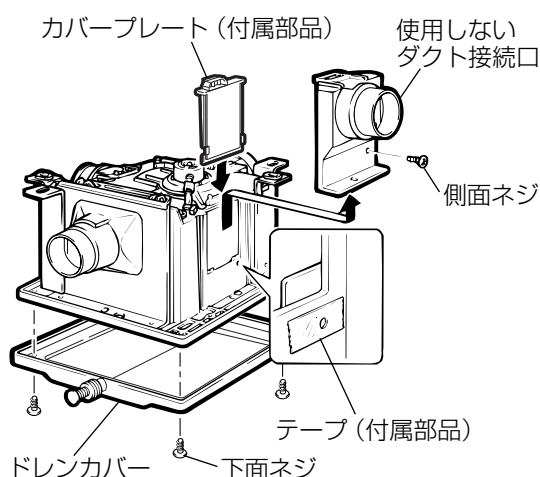
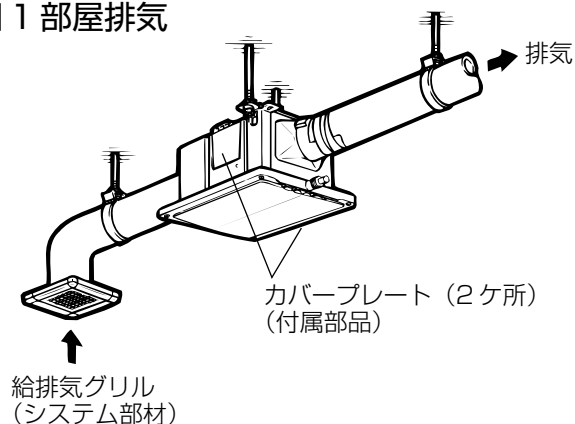
1 取付前の準備 (DVC-15M4のみ) つづき

※ 2 部屋排気・1 部屋排気の場合は図以外の取付方法もあります。

■ 2 部屋排気



■ 1 部屋排気

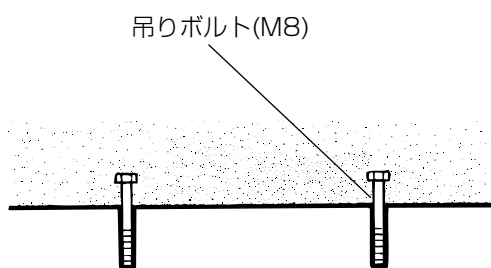


2部屋排気・1部屋排気の場合

1. 下面ネジを4本をはずし、ドレンカバーをはずす。
2. 側面ネジ 1 本（または2本）をはずし、使用しないダクト接続口をはずす。
3. ダクト接続口をはずした箇所に付属のカバープレートを取り付ける。
4. 付属のテープでネジ穴をふさぐ。
3. ドレンカバーを下面ネジ4本で取り付ける。

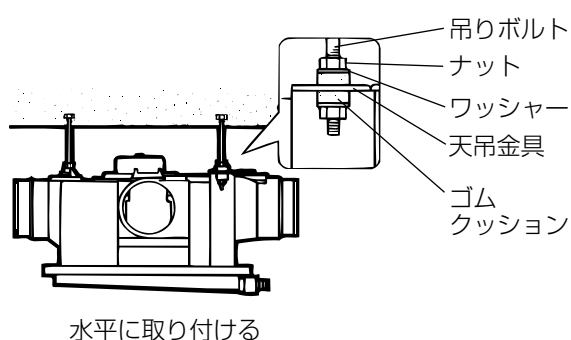
2 本体を吊る

1



外形寸法図の天吊金具取付位置を参照して吊りボルトを埋込む。

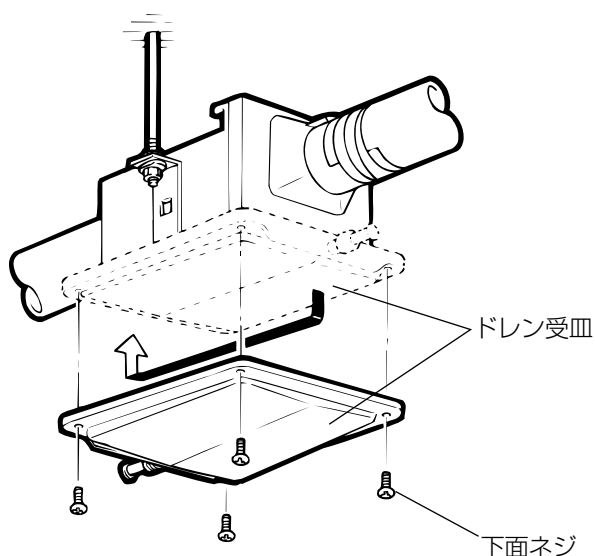
2



本体が水平になるよう（ドレン排出ができるよう）、天吊金具を吊りボルトに取り付け、市販のワッシャー・ナットにて確実に固定する。

（下側のナットには緩み防止機能付ナットの使用や接着剤・緩み防止剤などにより緩み止めを施してください。）

ドレン排出方向の変更



1. 4か所の下面ネジをはずし、ドレン受皿をはずす。

2. 向きを変更し（4方向可能）、はずした下面ネジで取り付ける。

- DVC-12M4の場合は2方向（ドレン抜きエルボが排気側または、吸込側になる方向）のみ可能です。

5 電気工事

■ 電源の接続・配線工事などは、必ず専門の電気工事店へご依頼ください。

■ 電気結線を間違えますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用（交換部品代含む）はお客さま負担となりますので結線図を十分確認の上、結線してください。

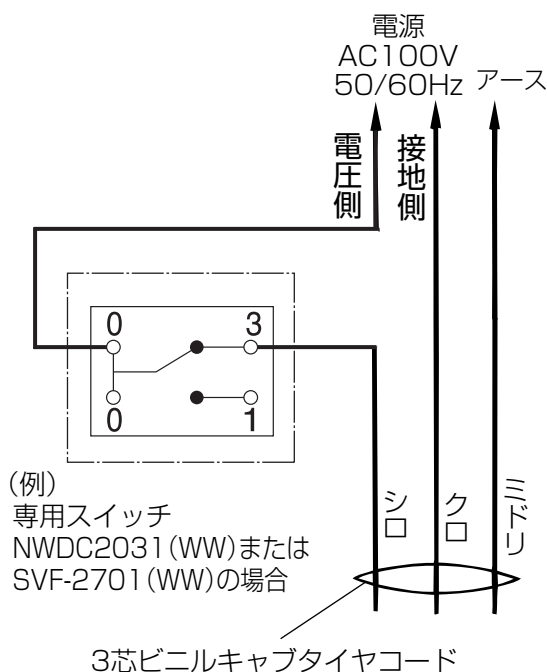
■ 電源は、単相交流100Vをご使用ください。200V電源をご使用になりますとモーターの焼損・火災の原因となります。

■ 電源電線（屋内配線 VVFケーブルφ1.6, φ2）は接続部に力が加わらないようにたるみをもたせ、本体に触れないように配線してください。

■ 浴室など湿気の多いところで使用する場合は必ずD種接地工事（アース）を行ってください。

■ 結線図に基づき太線部分を結線してください。

※ 下記専用スイッチを使用せずに24時間換気運転する場合は、スイッチを容易に停止されない工夫が必要です。



取付方法 つづき

6 天井材を張る

天井材を張ります。

お願い

- メンテナンスが行なえるよう本体の真下のドレン受皿が取りはずせる位置に保守点検口（□450）を必ず設けてください。
点検口が設置されていない場合、無償保障期間内であっても製品修理に必要となる天井その他の取り壊し及び修復費用は工事店様負担になります。

7 給排気グリルの取り付け

システム部材の給排気グリルを使用し、それに同梱の取付説明書を参照して取り付けてください。

試運転

取付工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認して正常な運転ができるか、また本体の取り付けが確実で振動・異常音がないかを確認してください。

東芝キャリア株式会社